

# JICE 研究開発助成について



情報・企画部  
研究員

浅賀 久美子

## 1 JICE 研究開発助成の概要

JICE では、平成 11 年度に「JICE 研究開発助成」の制度を創設し、2020 年度までに延べ 286 の研究に対して助成を行ってきている。研究開発助成制度は、各分野の先進的技術の研究開発を促し、住宅・社会資本整備を通じてより良い国土の利用・整備又は保全に寄与することを目的として、JICE の公益事業として実施している。

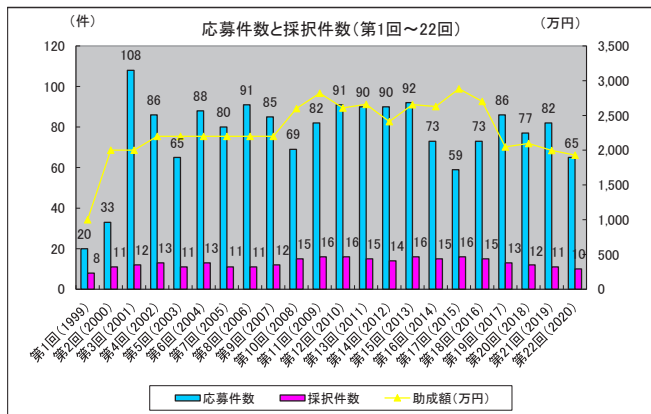


図1 JICE 研究開発助成 応募件数と採択件数推移

JICE 研究開発助成は、社会資本整備に資する研究であることを前提に、建設分野にとどまらず、人文系、社会科学系及び自然科学系の分野の研究においてもご応募いただくことが可能である。①応用研究課題として3課題、②重点研究課題として7課題の合計11件の研究課題を設定して公募しており、分野横断的な研究開発の応募を期待している。

## 2 第22回研究開発助成

2020年度の第22回研究開発助成については64件（継

続研究含む）の応募を受付けた。これらの応募研究に対して、研究開発助成審査委員会における厳正な審査により、優れた研究開発10件（継続研究含む）を採択し、2021年4月1日から2022年3月31日までの期間において研究が進められているところである。

## 3 第23回研究開発助成

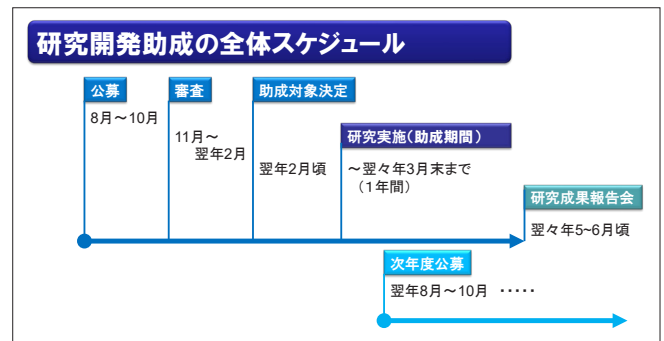


図2 JICE 研究開発助成 全体スケジュール

2021年度の第23回研究開発助成の公募は、2021年8月1日頃からの開始を予定している。

助成の対象は、2020年度と同様に住宅・社会資本整備に係わる先進的な研究・技術開発とし、応用研究課題、重点研究課題としてそれぞれ課題を設定している。また、助成対象とする研究者は、原則として大学、高等専門学校及びこれらに付属する機関等の研究者または民間企業の研究者（学生は対象から除外）としており、助成額は1件につき原則として単年度200万円以内、1つの研究テーマに対する研究開発助成は2ヶ年を限度としている。詳細は、公募開始後にJICEホームページに掲載するので、是非ご覧いただき、積極的に応募をしていただきたい。

## 4 第21回研究開発助成 成果報告会

研究開発助成を受けて研究を実施した成果については、その先進的な研究による知見をより多くの皆様に役立てていただくために、例年、発表の場として研究開発助成成果報告会を開催している。

2019年度第21回研究開発助成を受けて研究が実施された11件の研究については、2021年5月27日（木）に開催した成果報告会にてご報告をいただいた。本会は新型コロナウイルス感染予防の観点からオンライン配信にて開催した。

主に、近年の自然災害の激甚化を受けた施設整備や災害対応に関する研究、構造物の長寿命化に関する研究、ICTを活用した生産性向上技術に関する研究など、我々が直面している課題について幅広くご報告をいただいた。

本会への参加者は400名を超え、研究に対する質疑や意見交換が行われ、新たな技術への関心が寄せられた。



図3 成果報告会の報告の様子と事務局運営の様子

なお、成果報告会は、土木学会認定の継続教育 (CPD) プログラムの認定を受け公開にて実施し、専門技術者の継続的な技術研鑽にも活用していただいている。

これらの研究の成果概要、発表資料については JICE ホームページの研究開発助成事業で掲載しているので、あわせてご覧頂きたい。

(<https://www.jice.or.jp/review/assistances/results>)



表 第21回研究開発助成成果報告（2019年度採択研究）研究課題一覧（発表順：敬称略）

発表順	研究課題名	研究者名
1	流路変動の発現箇所と発現時期の科学的な推定のための尺度の構築	新潟大学 災害・復興科学研究所 准教授 安田浩保
2	メタ概念を導入した治水計画に関する研究	神戸大学大学院 工学研究科 准教授 瀬木 俊輔
3	軟弱地盤上の河川堤防内の液化抵抗に関する実験的研究	京都大学 工学研究科 准教授 PIPATPONGSA Thirapong
4	災害被害想定地域に立地する保育施設計画と災害対策に関する研究	東京電機大学 未来科学部 建築学科 助教 藤井 里咲
5	公民連携による公共空間ネットワークの形成に関する研究－札幌市を事例として－	工学院大学 建築学部 まちづくり学科 教授 星 卓志
6	無人化施工における Cognitive Tunneling を防止可能な視覚提示手法の構築に関する研究	早稲田大学 創造理工学部 総合機械工学科 教授 岩田 浩康
7	リーンマネジメント実装による建設生産システム高度化の研究	立命館大学 経営学部 経営学科 教授 善本 哲夫
8	電子放出菌と導電性下水管による戦略的な下水道の長寿命化に関する研究（第2年度）	山口大学 工学部 循環環境工学科 教授 今井 剛
9	大規模広域自然災害発生時の交通マネジメントの検証と今後の展開に関する研究	呉工業高等専門学校 環境都市工学分野 教授 神田 佑亮
10	平常時及び災害時の貨物輸送の時間価値計測に関する新たな手法の提案	神戸大学大学院 工学研究科 市民工学専攻 教授 小池 淳司
11	人工知能を用いた舗装点検手法に関する研究	法政大学 デザイン工学部 都市環境デザイン工学科 教授 今井 龍一